

校内研修の年間計画の工夫④

小学校

特別支援教育に関する内容を
年間にわたって継続した取組

活用した資料

校内研修プログラムP 4
 ー校内研修プログラムの年間の活用例ー
 実践事例集全般

○ 実践の概要

	時 期	内 容	成 果
校内研修 プログラム	4 月	実践事例集を活用した授業づくりと合理的配慮についての学習会	合理的配慮を盛り込んだ環境整備や授業づくりへの理解を深めることができた。
実践事例集	11月	個別の指導計画を生かした教室環境等の整備についての研修	合理的配慮の視点で、環境面への配慮を確認し合うことができた。
校内支援委員会	7月、11月 (随時)	事前に「学びの支援委員会」で話題に挙がった児童の指導方針について全教職員で確認	一人一人の児童の実態について共通理解を図ることができた。
特別支援教育 パートナー・ ティーチャー 派遣事業	年 4 回	特別支援学校教職員による特別な教育的支援を必要とする児童に対する年数回の授業観察、学級担任との面談の実施	特別支援学校の教職員の助言により、指導の充実を図ることができた。
特別支援教育 に関する研修	4月、5月、 8月、1月、 3月	「学びの支援委員会（年5回）」を実施し、一人一人の児童について、全教職員で実態の交流やケース検討（合理的配慮と検査結果の考察など）を実施	児童への支援の在り方や個別の教育支援計画の作成について、全教職員で共通理解を図り、日常の実践に生かすことができた。

本校では、上記のように、特別支援教育に関わる研修を年間計画に位置付けて取り組んでいます。

○ 実践の成果

「学びの支援委員会」、「校内支援委員会」、「特別支援教育に関する研修」を関連させて研修を進めた結果、児童の実態に応じた支援について、教職員間の共通理解を図ることができました。

また、校内研修プログラムや実践事例集を活用した研修等を通して、学校全体で「チーム」としての一貫した支援の在り方を確立することができました。